

湧き水の泉保護活動、ビチーハ村周辺水質環境調査

- 1 自治体名 ハバロフスク地方ハバロフスク郡
- 2 発表者名 Levina Galina (レーヴィナ ガリーナ)
ハバロフスク地方ハバロフスク郡ビチーハ村総合学校
- 3 活動名 湧き水の泉保護活動、ビチーハ村周辺水質環境調査
- 4 活動期間 2004～2006年
- 5 活動場所 国道ハバロフスーカザケーヴィチェヴォ (Khabarovsk-Kazakevichevo) 周辺に流れる湧き水の泉
- 6 活動参加人数 3名
- 7 活動をはじめた経緯
ビチーハ村住民が利用しているアムール川の水質悪化

8 発表要旨 (図表を含む)

一湧き水が地下を流れてミネラルなどの地球のエネルギーの一部も吸収すると思われる。そのため、湧き水を汲みに泉を訪れる人たちに、この構成はいかにも敏感であることとわれわれはそれを保護しなければならないことを理解してほしい。

一アムール川の水質が悪化し、ビチーハ村住民以外にも周辺やハバロフスク市から多くの人々が湧き水の泉を訪れることになった。残念ながら訪問者数が増加するにつれて、泉周辺のごみの量も増えてきた。

そこで私たちが泉周辺浄化活動を実施し、湧き水を求めてきた人たちにも参加するように呼びかけた。ほとんどの訪問者が喜んで参加してくれた。

泉には一時間に平均20～25台の車が来る。訪問者は一回で20～100L、時によって100L以上の水を持ち帰る。

一現在は、ゴミ箱とコンクリートの塀を既に設置したが、将来、泉周辺をきれいにして、泉を保護するようにと求める看板を設置する予定。